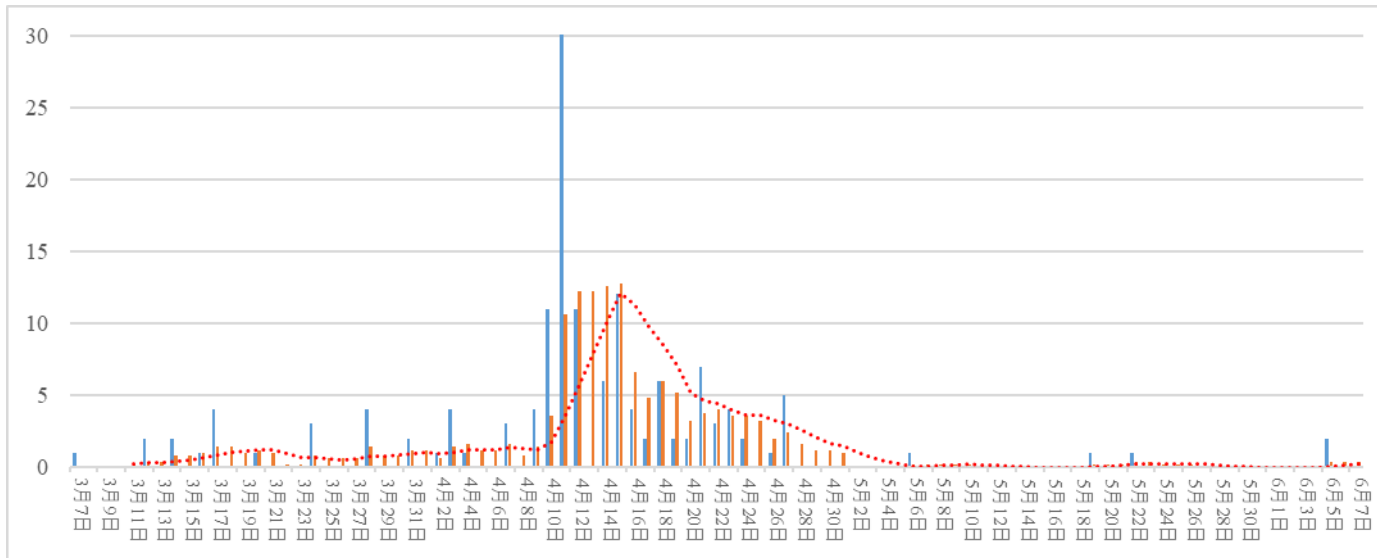


新型コロナウイルス感染症  
流行シミュレーション作成事業  
結果（2020年6月8日版）

群馬大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野

# I 流行のリアルタイム評価

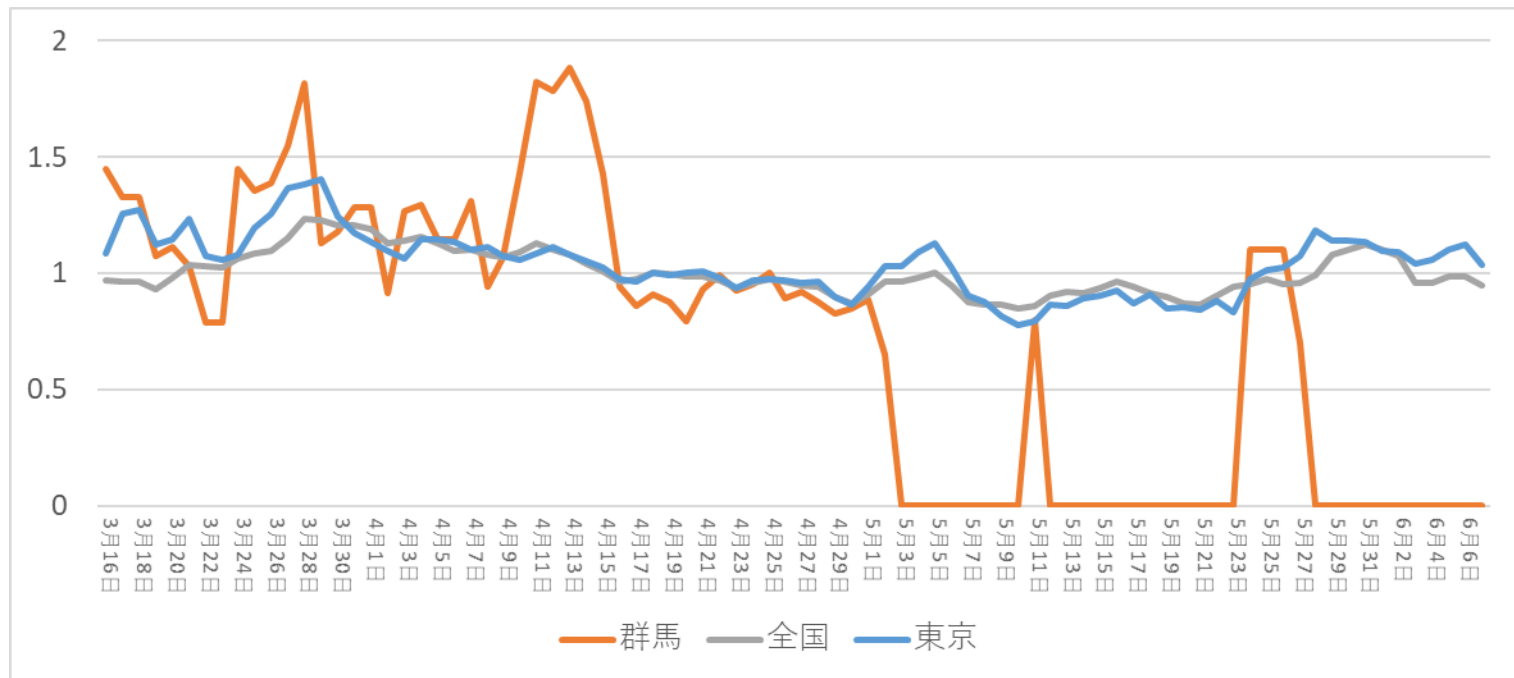
- 4月後半からPCR陽性者の報告はほぼ0件の状態が続いている。
- 散発例は認めるが発症者の連鎖は起きておらず、流行は起きていないと考えられる。



青：報告者数  
橙：移動平均（5日）  
破線：橙の近似曲線

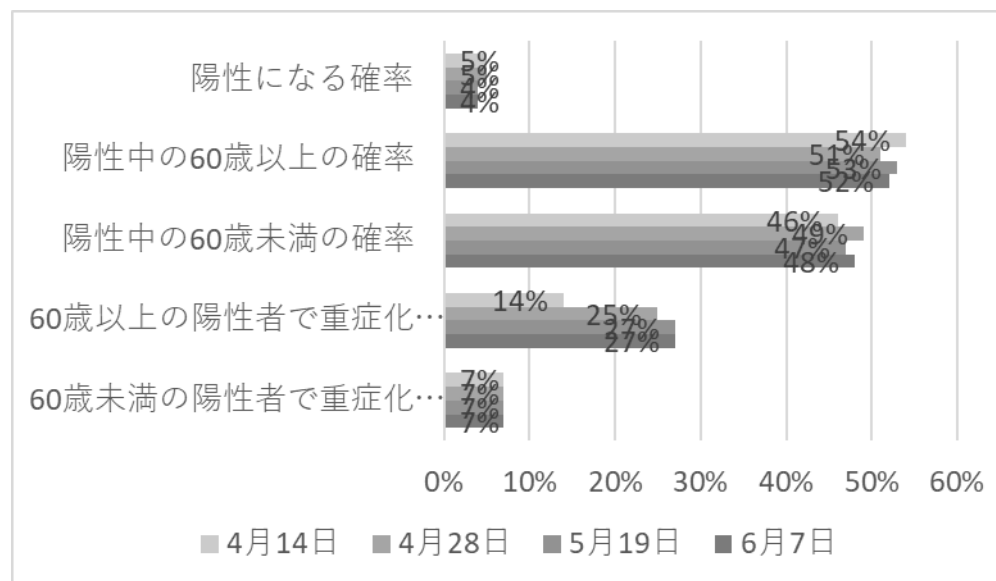
# I 流行のリアルタイム評価

- PCR陽性者数による実効再生産数の推定は，群馬は最新値で0.0（正確にはNot Applicable）。
- 散発例で1付近まで上昇するが持続性は認めず。
- 東京は5月後半から再度1を上回った。



## Ⅱ PCR検査結果予測

- 累積のPCR 検査件数からどのくらいの確率で陽性者が出るか推定(Rstan を使用)した。
- 陽性者が見つかる確率は 4% で変化なし。
- 60 歳以上 と 60 歳未満の割合はおよそ半分。
- 60 歳以上 で重症化する確率は 27% で変化なし。



# まとめ

- 現在，群馬県では，PCRによるコロナウイルス陽性者はほとんど報告されていない。散発例は認めるが，連鎖はしていない。
- 実効再生産数の計算では，散発例の報告により1前後まで上昇することがあるが，連鎖することとはなく，すぐに0まで低下していた。
- PCR検査の累積情報で評価した結果，陽性化や重症化の確率は前回と変わらなかった。
- ただし全国的にはクラスターの報告があり，引き続き流行動態を観察することが必要である。